

文京区長 成澤廣修様

2019年12月23日

日本共産党文京区議会議員団

板倉 美千代 萬立 幹夫 金子てるよし
国府田久美子 関川 けさ子 小林 れい子
福手ゆう子 党地区都政対策委員長
石沢のりゆき 党地区青年学生部長

来年度の国民健康保険料の大幅値上げに反対し、引き下げ等を求める申し入れ

東京都は、11月26日の国民健康保険運営協議会に、国の仮係数に伴う各区市町村の来年度の納付金及標準保険料率の算定結果を報告しました。

今回の都の算定結果では、東京都の被保険者数は約10万人減少しているものの、1人あたりの医療費などは増えていることなどから、区市町村が収める納付金の1人あたり額は17万7480円で、今年度17万2947円より4533円の増額となっています。そこから導き出された来年度の1人あたりの保険料は15万5349円であり、この額は、都の2019年度最終確定の1人あたり保険料15万710円に対し、4639円(1.03倍)の値上げとなっています。

また、東京都は、この間、急激な値上げを抑制するための独自の激変緩和策(2018年度から6年間で79億円)を打ち出し実施してきましたが、来年度については「国の激変緩和策で賄える」として独自策は実施しないとしました。

文京区においても毎年国保料が値上げされ、この間、10万円もの値上げが行われてきました。「こんなに高いと生活できない」「とても払える額じゃない」との悲鳴や要望が殺到しています。消費税増税などで暮らしが大変な時に、今でも高くて払えない国保料が、さらに大幅に引きあがることになれば、被保険者にとって負担能力の限界をはるかに超え、より一層深刻な事態を招きかねません。

いま安倍政権は、国保の法定外繰り入れを「赤字」と規定し、その「早期解消」を自治体に求め、今年度も、骨太方針2018年で、解消のための「実効的・具体的手段」を盛り込んだ計画の策定と実践を促しています。そして、その取り組み具合に応じて自治体への交付金(保険者努力支援金)に増減を求めるなどインセンティブとペナルティーを科すとしています。

東京都もこの間の国保運営方針のもと、法定外繰り入れを「赤字」と規定し、その「解消」を各自治体に求め、国保料値上げを迫ってきました。今年9月の都国保連協では「赤字」解消のための健全化計画を60区町村が定めたが、内12区市町村が「削減目標年次、削減予定額及び具体的取組内容を定めていない」と

指摘し、定めない場合は保険者支援金がマイナスになると脅し、値上げを迫るなど、国保加入者の深刻な実態を顧みない姿勢に終始しています。

現在の国民健康保険制度は、加入者の8割が所得の低い非正規労働者や無職者・年金生活者で占められているにもかかわらず保険料は高いという構造的な問題を持ち、他の医療保険と比べても、大変重い負担となっています。被保険者に一層の保険料負担を押し付けることは、国保制度を根底から崩しかねません。

今こそ文京区も東京都も保険者として、国民健康保険制度が社会保障として住民の命と健康、くらしを守るという本来の役割を果たすよう、あらゆる努力をして大幅値上げを抑え、軽減に踏み出すとともに、国に対して国保の構造的問題を開き、公的医療保険として国保制度を立て直すよう強く求めるものです。

よって、文京区として保険料引き下げのために、あらゆる努力を行うよう求め以下の点について申し入れるものです。

- ① 特別区長会に、納付金の一部への一般財源繰り入れによる激変緩和策にとどまることなく、さらなる一般財源の繰り入れをはじめとしたあらゆる努力を行い、国保料を値上げせず引き下げるなどを申し入れること。
- ② 来年度の試算が示されたことも踏まえ、国保財政の運営主体である東京都に対し、あらためて保険料負担軽減のための都独自の財政支出を実施するよう申し入れること。
- ③ 多子世帯の負担が重くなる子どもの均等割については、ただちに見直しをするよう強く国に申し入れること。また、特別区長会に子どもの均等割の軽減など、子育て世帯への国保料の負担軽減を行うことを申し合わせ、実施することを申し入れること。
- ④ 区として来年度保険料率の算定にあたっては、途中経過も含め、すべての情報を区民、区議会に明らかにし、区民参加を貫くこと。法定外繰り入れを存続すること。国民健康保険料の滞納者への延滞金徴収措置はやめること・
- ⑤ 特別区長会に強権的な徴収強化、差し押さえはしないことを申し合わせるよう申し入れること。
- ⑥ 国に対し、国保制度の構造的問題の解消に向け、均等割を廃止し、国保料負担を協会けんぽ並に引き下げるための公費の1兆円規模の投入を行うことを求めるとともに、保険者努力支援制度を使っての財政刺激策など、区市町村への法定外繰り入れ解消の強要をやめるよう申し入れること。